



今帰仁村役場新庁舎

①取組概要

今帰仁村には「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の構成遺産の一つである、世界遺産「今帰仁城跡」があります。今帰仁城跡には城跡を囲む1.5kmにわたる石垣があり、自然な石をそのまま積み上げる「野面積み」が特徴的です。

そこで、令和6年7月に落成式を終えた今帰仁村役場新庁舎においても、今帰仁城跡を連想させる石垣の設置や擁壁への石張り及び桜の木の植栽等、地場産材を積極的に活用し景観的にも魅力ある今帰仁村役場となっております。



世界遺産 今帰仁城跡



②取組において工夫した点

- 花ブロックによる沖縄らしい建物の推進
- 擁壁への石張りや石垣による今帰仁村らしさの形成
- 庁舎標識等への琉球石灰岩使用による地場産材の積極的活用
- 防護柵等による景観への配慮